

令和五年度 ふくしまを十七字で奏でよう 届けたい 未来へつなぐ十七字 「絆部門」 県北域内優秀作品集

県入賞作品（最優秀賞）

お父さん いっしょに食べよう オンライン
蓬萊東小学校 四年 小澤 乙輝
いただきます 単身の夕げに 子の笑顔
父 小澤賢太郎

県入賞作品（優秀賞）

聞いててね 校歌を全部 覚えたよ
瀬上小学校 一年 菅野 柗真
我が母校 親子で歌い 懐かしむ
母 菅野 優香

県入賞作品（佳作）

しわくちゅの えがおにつられ わらいあい
福島第三小学校 一年 山澤 柑奈
孫の声 聞き取りできず 笑うだけ
曾祖母 木村 益



県二次選考通過作品

つかまえた カナチヨ口持って 得意顔
二本松南小学校 四年 高橋 悠月
すこいねと 一応誉めたが もう勸弁
祖母 高橋 悦子
前がみを かがみで見たい はやくして
杉田小学校 四年 菅澤 心媛
かわいいよ やってしまった 切りすぎた
母 菅澤 ひとみ
ねてるふり 今日もバレない 大せいこつ!!
玉井小学校 三年 喜古 真音
布団まで 気づかぬふりで 運ぶ父
父 喜古 真也
おとうとと じいじのかやは ひみつきち
本宮小学校 二年 齋とう 陸翔
蚊帳の中 色とりどりの めいぐるみ
祖父 佐藤 右一郎
シャワーなの? おしゃべりしながら つかろつよ
福島大学附属小学校 二年 永岡 阜
孫との湯 シャワーがいいな 夏の日
祖父 佐久間 功
汗だくで 働く父に 塩分を
月館学園中学校 一年 菊地 綾乃
塩あめが 仕事バッグに 入ってた
父 菊地 正明
初挑戦 ヒフメと格闘 相馬沖
本宮第一中学校 一年 矢嶋 吉汰
釣り上げた 大きさを知る 子の成長
父 矢嶋 正義

各賞を受賞された皆様
おめでとうございます



県北域内奨励作品

おたかな クリーミーザリザリ はーとん
大山幼稚園 年少 今野 瑞基
アイスも完食 あと僅かな 音位転換
母 今野 稚菜
はなれても 弟に手本 見せるため
福島第一小学校 四年 尾形 橙理
川の字の 一本卒業 小四の春
母 尾形 那月
ランドセル 昔は無かった タブレット
福島第一小学校 五年 大関 歩花
重くても がんばる背中が 頼もしく
母 大関 聡美
マスク無し 口元見える お買い物
福島第一小学校 六年 小野寺 由真
久しぶり 外出先の 子の笑顔
母 小野寺 万寿実
こまつてる ログインがめん できないよ
福島第二小学校 一年 佐藤 柚斗
「おねえちゃん!」 電子書籍で よばれる
福島第二中学校 三年 佐藤 桃香
お母さん お役に立てて うれしいよ
福島第四小学校 五年 高橋 一雅
あと2円 小さな財布 ありがと
母 高橋 りつ子
あー、あれね ここにあったよ お父さん
三河台小学校 三年 よしえ みはる
あれがない あれがほしいけど どこにある?
父 吉江 進
レッツゴー アンダー10で 県大会
森合小学校 四年 高野 悠成
炎天下 駆ける君らに 懸ける夏
母 高野 佳奈子
ママのこと 「お母さん」って 呼べるかな
南向台小学校 三年 渡部 陽斗
「ママがいい」 いつまで言うて くれるかな
母 渡部 紗緒里
急な雨 肩がぬれる お母さん
杉妻小学校 五年 東城 璃桜
夕立に きゅとくつつき 傘一本
母 東城 麻衣
パパとママ どちらがすきか いえぬまま
蓬萊小学校 一年 田中 結人
気を遣う 我が子を見ると 愛おしい
父 田中 昭一
すこしでも 人の話は 聞いてみて
蓬萊小学校 四年 伊藤 旭
その言葉 君に一番 伝えたい
父 伊藤 将希
はつゆかた かわいく着せて お母さん
蓬萊小学校 四年 菅野 杏梨
まかせてね ゆかたの着せ方 ユーチューブ
母 菅野 美智子
響く音 楽しくなるよ 父の笛
蓬萊小学校 四年 大友 湊代
太鼓の音 息子に継ぐ この伝統
父 大友 寿則

自分のは ぜんぜん進まず 大苦戦
蓬萊小学校 六年 齋藤 幸輝
夏休み 兄に教わる 自主勉強
蓬萊小学校 四年 齋藤 歩叶
よく聞いて ほくの事は 一度きり
清水小学校 三年 渡辺 景斗
スマホの手 止めて子供の 話聞く
母 渡辺 有紀
親心 理かいて勝手に しかられる
清水小学校 四年 前田 透奈
叱ってて 呂律回らず 舌を噛む
母 前田 杏奈
単身の 父待ち寝たふり 高揚感
清水小学校 五年 佐藤 稟
おかえりの 家族の笑顔で 安心感
父 佐藤 悠
残業の 母に「お疲れ」 手紙書く
北沢又小学校 五年 菅野 仁大
リビングに 小さなメモが 輝く夜
母 菅野 由美子
「かしてみな」 むりしないでね おかあさん
御山小学校 一年 はやし みお
「ありがと」 けがして気付く あたたかさ
母 林 郁恵
「こつちだよ」 手を引くほくが つれてくよ
御山小学校 五年 西坂 和也
小さな手 いつのまにやら 大きな手
祖母 西坂 一美
もうすこし おはなしたいの とまらない
岡山小学校 一年 加藤 琴晴
おやすみと いったすくあと ままきいて
母 加藤 佳奈
もくてきは ちちのバースデー プレゼント
鎌田小学校 二年 末松 京夏
娘から ミシン買ってと せがまれる
父 末松 孝治
ばあちゃんと 明日もかけっこ おこつこ
鎌田小学校 三年 岩野 更咲
孫相手 今日は眠剤 いらません
祖母 渡邊 よし子
見つけたよ しぜんのかくし給 夏の虫
鎌田小学校 三年 池田 桐人
苦手なの 持って来ないで 鳥肌だ
母 池田 彩乃
水やりの 父のせなかに 水でつぼう
鎌田小学校 三年 伊藤 千智
びしょぬれの 笑顔の二人 窓こし
母 伊藤 希美
お母さん ほくはもうすく みおろすよ
鎌田小学校 五年 佐藤 友成
子の目線 自分に近く 照れ笑い
母 佐藤 奈津子
遊びたい ゲームをしたい また今度
鎌田小学校 五年 小形 綾音
初雪に スキーに行こう さそう父
父 小形 仁
なつのひに みんなでひるね きもちいい
月輪小学校 一年 近野 統稟
似るもんだ 寝姿までも 家族かな
父 近野 洋

コロナで アイパッド使用 うれしいな
月輪小学校三年 渡邊 英玲奈
つなぎたい 親はきずなを 子はワイファイ
渡邊 千秋
お母さん やさしい笑顔 ひまわりだ
月輪小学校四年 齋藤 陽斗
ほぼえんで 話す息子は 太陽だ
母 齋藤 美千代
おねえちゃん なんてそんなにはしれるの
瀬上小学校一年 えんどう なぎさ
泣きながら 姉の背中を 追いかける
母 遠藤 恵理
とんぼとり パパとは違った たかこぬま
余目小学校二年 武藤 悠莉
子の前で 見事に捕獲 キンヤンマ
父 武藤 憲一
学童で お弁当ひろげて ママの味
余目小学校三年 黒澤 美優
夏休み 気力でつくる 子の弁当
母 黒澤 恵
夏野菜 たくさんくれる おばあちゃん
余目小学校四年 安田 華音
冷蔵庫 まだまだ残る 野菜達
母 安田 直子
暑い日も たたみの上で せおいなげ
吉井田小学校五年 石橋 朱茜
いつの日か 娘に一本 たらしたい
父 石橋 佑一郎
キャンプの夜 神社にひびく さげび声
立山小学校六年 羽田 朔和
きもだめし 子のさげび声 大成功
父 羽田 善道
あきらめない せつたいでできる さかあがり
平野小学校一年 たかはし ほのか
どこいった 幾年まえの そのころ
母 高橋 恵
だいじょうぶ ほくがごんから 休んでて
平野小学校三年 安斎 孝佑
パドルこぐ 君の背中が たくましく
母 安斎 桃子
父と行く 夜を切り裂く サンライズ
平野小学校四年 櫻井 遥人
星空や 夜行列車で 親子旅
父 櫻井 正利
いざ勝負 竹刀の音と 響く声
平野小学校六年 佐原 結愛
もう一本 娘の気迫 焦る父
父 佐原 祐介
ゼッケンの 糸から伝わる 母のエネルギー
平野小学校六年 西岡 侑利
コニフォーム たたんで思う 子の成長
母 西岡 美幸
はかまいり きょうはにぎやか じいちゃん家
湯野小学校四年 菅野 優希
墓詣 暑さ知らず 通り雨
父 菅野 剛史
夏まつり ゆかたに着がえ おひろめに
湯野小学校五年 島 枝子
ひ孫見て 喜ぶばあば 百一歳
母 島 文子

夏休み エアコンこわれ 暑すぎる
下川崎小学校六年 二階堂 司
雷で エアコンこわれ 家族団欒
母 二階堂 千代
おはようと あさがおさんに ごあいさつ
平田小学校一年 奈良輪 耀汰
アサガオに 負けず育てと 願う母
母 奈良輪 亜耶
まかせてよ きょうざ包みは 楽しいな
平田小学校五年 渡辺 陽葵
出番だよ 餃子包みの 達人さん
母 渡辺 和子
夏野菜 じーじの畑が 日本一
平田小学校六年 長尾 心々菜
おはようと 畑にひびく 孫の声
祖父 長尾 喜吉
すこいでしょ はじめてケーキ つくったよ
庭坂小学校二年 館野 樹里
そのころ クリームよりも おいしいよ
父 館野 聡
真っ黒に やけたお顔が ほこらしい
庭坂小学校六年 早坂 柚璃
真っ白な 残りの宿題 なやましい
父 早坂 祐二
母ダウン ごはん戸じまり ほくがやる！
水保小学校三年 佐々木 謙心
悪くない 寝込んで気づく できる事
母 佐々木 桂
父のため つくるみそしる 減塩に
飯野小学校五年 佐久間 華和
健康に 優しい味だ ありがとう
父 佐久間 一寿
誕生日 手かしてと マッサージ
川俣小学校三年 齋藤 紅音
最高の いやしをくれる プレゼント
母 齋藤 佳菜恵
できあがり 自分で作る オムライス
川俣小学校六年 菅野 凌駕
いつの間に うで前あげた 子の料理
母 菅野 美香
はらへった においとおとで かけつける
伊達小学校二年 谷地 幸南
今日はなに のぞきこむ子へ あじみさせ
母 谷地 慶子
だいじょうぶ きょうもかたもみ してあげる
伊達小学校二年 遠藤 実莉
ありがとう 気持ちも肩も いやされる
母 遠藤 由佳
夏祭り 太鼓練習 母の肩
伊達小学校六年 高岸 優成
ありがとう いつでもかすよ 肩たたき
母 高岸 麻美
洗車場 いつも二人で みがき上げ
伊達小学校六年 樋口 凜空
助かるな 息子と二人 ビカビカに
母 樋口 枝折
ばあちゃん といっしょのじかん たのしいな
梁川小学校一年 菅野 咲希
孫育て 披露困難 でも癒し
祖母 八巻 清美

こんどこそ たなばたたいしよう がんばるぞ
梁川小学校三年 田中 有希
心こめ 孫といっしょに 右はらい
祖母 田中 洋子
おばあちゃん おいしいご飯 ありがとう
梁川小学校六年 深谷 梨花
うれしいよ おかすの皿が 深うぼた
祖母 深谷 容子
うちのもも とてもまつかた おいしいよ
栗野小学校二年 桃井 琴之
桃食べる 娘の笑顔に いやされる
父 桃井 弘之
おてつだい とくいりようりは たまごやき
大田小学校三年 島 優芽
ありがとう 家族の笑顔 おちるほお
母 島 祥子
インパクト パパのおしごと かつこい
住沢小学校一年 寺島 響輝
廃材で 資材置き場を 作るだけ
母 寺島 正子
お母さん みんなのお皿 あらったよ
月館学園小学校五年 関根 愛琉
ありがとう 小さなママの 誕生日
母 関根 しのぶ
カマキリの 羽化を見守る 僕と母
月館学園小学校六年 平林 蒼
頑張って 小さな命 羽広げ
母 平林 香織
かたぐるま パパよりたかい いいきぶん
醸芳小学校一年 さいとう ゆら
肩車 今夜もこっそり サロンパス
父 齋藤 崇史
ばあちゃんの やきおにぎりが たべたいな
醸芳小学校二年 菅野 智愛
暑くても またつくるから 食べにきな
祖母 工藤 裕子
りんごとり ばあばのとりかた まねしたよ
伊達崎小学校一年 おおたけ はるま
とくいがお 青い果実も ごあいさよう
祖母 長沢 くみ子
ママこいよ けんかをするなら ポクシング
伊達崎小学校二年 加賀 千莉
受けて立つ 息子をくすすり すぐオー
母 加賀 明子
祖父の桃 食べると元気 全開だ
国見小学校六年 渡邊 響生
光る汗 激闘応援 孫と祖父
祖父 渡邊 茂男
ばあちゃんの 俳句を心に 泳ぐ夏
二本松南小学校五年 山本 尊
父に似て 産湯で泳ぐ 曾孫かな
曾祖母 小濱トシ子(故人)

はあちゃんの まもってくれる 大きい手
塩沢小学校二年 わたなへ こうすけ
つなく手の やわらかさにも ホツとする
祖母 佐藤 美谷子
泣かないで 学校行くよ 少しずつ
岳下小学校四年 高橋 依吹
大丈夫！ 沢山いるよ 「応援団」
母 高橋 智美
みないでよ はにかむ私 いやいや期
原瀬小学校五年 丹野 珠愛
こっち見て 娘の顔が 見たい父
父 丹野 辰弥
そのにもつ わたしもつから たっこして
杉田小学校三年 安田 芽生
さつきより 重くなくても お礼言っ
母 安田 麻希
おこられた 数だけ黒い 練習着
杉田小学校五年 安田 怜生
傷ついた ハートも母が お洗濯
母 安田 麻希
ひよこみたい おとうといつも ついてくる
大平小学校二年 岩間 美咲
姉ちゃんの 後ろは僕の 指定席
母 岩間 明日香
夏休み しょつきあらいで 母がわり
大平小学校五年 水溜 望玖
うれしさを 噛み締めながら 二度洗い
母 水溜 さち子
シャケンで 永遠あいこ 気が合うね
大平小学校五年 本名 真広
なにげない 子供の笑顔 いやしかな
父 本名 大浩
角出ても やさしいオニだ お母さん
大平小学校六年 佐藤 廉太
寝顔みて 言いつきたよな 自省会
母 佐藤 ちえみ
はずかしい ついてこないで とうこうはん
油井小学校一年 嶋 二はる
心配だ そこまでそこまで もう学校
母 嶋 里美
しんばいだ ほくのおもちや たべるかも
油井小学校一年 田中 公暉
妊娠を 息子に伝える どう思う
母 田中 千秋
あさがおの おせわはばあば たのんだよ
油井小学校一年 二瓶 瑚都
わかったよ ばあばのせわは たのんだよ
祖母 平山 文子
ゆびにのせ 大へのおもい ワンチユール
油井小学校二年 古館 芽生
思いやり いぬとのきずな 教えられ
母 古館 稚子
手をつなぎ パパとあるいた さんぽみち
油井小学校二年 境田 蓮
散歩道 智恵子も見てた 空の下
父 境田 隆仁
じてん車で まつてくれる おにいちゃん
油井小学校二年 わたなへ あいと
弟の まだまだ不安な 外遊び
油井小学校四年 渡辺 陽翔

キッチンで せのびしながら 味見する
油井小学校三年 佐藤 純姫
いつの日か 母の味を 伝えたい
母 佐藤 優美
ハイチーズ マスクしないの ひさしぶり
油井小学校三年 三浦 心雪
コロナ禍の マスク写真も 思い出に
父 三浦 忠
かいごとは 心によりそう お手つだい
油井小学校三年 遠藤 裕大
大丈夫? 自立支援の 第一歩
母 遠藤 真裕美
木曜日 この日は家に まっすくだ
油井小学校四年 須藤 優悟
木曜日 息子の帰り 耳すます
母 須藤 律子
おばあちゃん 話したいこと いっぱいだよ
油井小学校四年 木幡 未紗希
花手向け 父母思う 墓参り
母 木幡 早苗
知らないよ ぼくははじめて 見る花火
油井小学校四年 中村 優樹
4年前 子と見た花火 思い出し
母 中村 久美子
ひるごはん あっちいつてて ぼくつくる
油井小学校四年 鹿又 煌生
大丈夫? ついつい口出し 追いつかれ
母 鹿又 恵
助けてと 声が聞こえる すぐ行くぞ
油井小学校四年 赤津 和成
夏休み 呼べばすぐ来る お助けマン
母 赤津 摩以子
スイカをね 大きな口で かぶりつく
油井小学校四年 渡邊 瑠乃
妹の 食べる姿は カブトムシ
油井小学校六年 渡邊 瑠愛
ふた開けて 笑顔の花咲く お弁当
油井小学校五年 荒川 愛莉
知恵しぼり すべて手作り 母の味
母 荒川 幸子
お母さん ぼくをいつでも 頼ってたね
油井小学校五年 吉田 蒼
疲れたな ぼくがいるよと ぼくえむ子
母 吉田 香奈
雨上がり 旅行帰りに シアな感じ
油井小学校五年 吉田 朱璃
帰り道 二本の虹が お迎えた
父 吉田 啓安
あついなか おぼんのおきょう がんばった
小浜小学校二年 大嶋 徹照
子を横に お経唱える 声震え
父 大嶋 憲彰
見せたいよ 今のすがたを 父さんに
小浜小学校五年 遠藤 晴太
見ているよ 伝わってるよ あの花
母 遠藤 里恵
ありがとう さつきももらった いいのかな
小浜小学校六年 齊藤 凌来
なつまつり こつかいあげるよ 行ついで
曾祖母 長峯 ミヨ子

夜の中 にぎる手と手と 夜の星
新殿小学校三年 矢内 来翠
手をにぎり 星空に願う 幸せな日々
母 矢内 千秋
得意技 わたしにおまかせ 風呂そうじ
新殿小学校四年 山口 莉奈
得意顔 手伝う姿に 笑みこぼれ
母 山口 正美
今度こそ とくたいさくこえ ホームラン
新殿小学校五年 橋本 奏人
ヒットでも 母にとつては ホームラン
母 橋本 真喜
ていでんも きゃんぶきぶんで ばんごはん
東和小学校一年 武藤 歩
停電も 子供喜ぶ 思い出に
母 武藤 香織
おとうさん まだいるのかな ふりかえる
東和小学校一年 三浦 瑞貴
がっこうへ むかうせなかが たくましく
父 三浦 圭司
弟の かわいい口に はこぶかし
東和小学校三年 和田 そら乃
まだあるよ 優しい口調 まるでママ
母 和田 茜
し合中 母の音が せなかおす
東和小学校三年 佐藤 啓起
ひとり立つ バッターボックス 声援を
母 佐藤 啓実
ぼんだなに ご先祖様が 集まった
東和小学校四年 武藤 結姫
手持ち花火 ご先祖様に 思いのせ
母 武藤 亜由美
手を合わせ またねじいちゃん さようなら
東和小学校五年 高野 維月
「ありがとう」 送り火たいて また来年
東和小学校一年 高野 紗良
夏休み シャリシャリ音する 台所
大山小学校四年 石川 侑季
にじむ汗 ひたすら回す かき水
母 石川 理恵
「おかえり」の 声のやさしさ ありがとう
大山小学校五年 小野坂 心暖
「ただいま」の 声でわかるよ 子の気持ち
母 小野坂 久美子
夢だった 全国大会 思いのせ
大山小学校六年 本田 珠寿妃
コロナ明け コートに響く 応援歌
母 本田 千紘
子どもから 大人になるよ せみの羽化
玉井小学校四年 武田 啓吾
重ね見る いつか来る子の 羽ばたく日
父 武田 収
たまごやき 母の味には あと一步
玉井小学校五年 江坂 日花
手も口も 出さずに見せる 子のやる気
母 江坂 香歩里
日本一 あの富士山に 登れたよ
玉井小学校六年 兼平 桜楽
ひよいひよいと 遠くなる背が 頼もしい
母 兼平 美咲喜

勝てるかな 母の前では 弱音吐く
玉井小学校六年 八木田 純音
頑張れ!!と 優しく言えず 怒り買う
父 八木田 学
じじばばが 作る野菜は おいしいな
本宮まゆみ小学校五年 鈴木 遼太郎
朝採りの きゅうりを孫が 丸かじり
祖母 佐久間 加津子
たのしいな 育てたいもを ほることが
本宮まゆみ小学校六年 渡辺 隼
ジャガバター 塩もいよいよね! 食べ放題
母 渡辺 千夏
おばあちゃん ぼくがてをひき こしきぬま
五百川小学校一年 ちば こうせい
あめのなか まごのてをかり ぬまめくり
祖母 ちば みきこ
パパが好き 今日もお風呂に 入ろうね
五百川小学校一年 遠藤 愛莉
ああ娘 あと何回と 噛み締める
父 遠藤 司
たまごやき つくってたべたら こげたあじ
五百川小学校二年 高橋 心花
娘焼く こげもあまさも 隠し味
母 高橋 愛
なつやすみ ふろでがんばる みすむぐり
五百川小学校三年 小野田 悠人
プールでも ついにできたね おめでとう
父 小野田 誠
ひいばあちゃん 足がいたいので よくなつて
五百川小学校三年 三瓶 未陽
曾祖母の 手をひくすがた たのしい
母 三瓶 由貴
さらあらい わたしの仕事 まかせてね
五百川小学校三年 野崎 絆菜
たすかるわ 仕上げしてるの 秘密です
母 野崎 恵美
じいちゃん わすれないでね ぼくのこと
五百川小学校四年 三瓶 駿
たくさんの 涙と思い あふれ出る
母 三瓶 まなみ
階段の 上り下りには 気をつけて
五百川小学校四年 平栗 湊斗
振り向いて 手を差し出した 孫優し
祖母 平栗 美樹子
ツバメさん 保護してさよなら また来年
五百川小学校五年 安齋 友貴
羽広げ うれしさをの 巣立ちの日
母 安齋 紀保
その顔が 見たくてこっそり お手伝い
五百川小学校五年 石川 涼
えつすこい 畳まれてある 衣類たち
母 石川 薫
母作る オムライス見て 苦笑い
五百川小学校六年 浅川 碧夢
ケチャップで ハートも書くよ 子の名前
母 浅川 璃奈
サッカーを パパといっしょに たのしいな
岩根小学校一年 橋本 優臣
見たいのはこの時にする 本気顔
父 橋本 利幸

兄たちが 書いた絵を見て ぼくも書く
岩根小学校二年 保住 太登
上手だね マネもたまには いいものだ
母 保住 聖子
聞こえてる 少しはすかし ははとよぶ
岩根小学校二年 江井 葉奈
母の字を 習った後は ママ卒業
母 江井 美加
お母さん 電話の声は 別人だ
岩根小学校二年 滝川 夢純
遣伝子を 甘くみるなよ 君もなる
母 滝川 沙綾香
パパあねね ギョツとすれば いれますよ
岩根小学校二年 穴戸 杏菜
どこにある やる気スイッチ 見当たらない
父 穴戸 雅彦
夜ごはん パパはお酒で ぼくシユース
岩根小学校三年 大橋 奏太
まってるよ シユースがお酒に かわる日を
父 大橋 徹也
筋トシの 父のじゃまして せなかのる
岩根小学校三年 伊藤 陽菜
三姉弟 愛しさ三倍 負荷三倍
父 伊藤 悟
任せてよ せのびしながら 服を干す
岩根小学校五年 善方 咲名
助かった 娘に託した 洗濯干し
母 善方 亜紀
まだかなと パパとすごした 5日かん
糠沢小学校一年 さいとう なな
よろしくね 今日からあなたは お姉ちゃん
母 斉藤 友紀子
洗いのもの してあげるから 遊んでね
糠沢小学校一年 矢島 知空
ありがとう コップひとつぶん だししめる
母 矢島 智恵美
おいしいね 自分もおぼえて つくりたい
糠沢小学校二年 菅野 結衣
茶碗蒸し 亡き母の味 作る夜
母 菅野 沙弥香
走る兄 その背を目指し 走る僕
糠沢小学校四年 三瓶 瞳弥
父、兄を 超えるその日を 楽しみに
父 三瓶 純
大好きな ピアノでかなでる「アンダー・ザ・シー」
糠沢小学校四年 巴 かのん
子どもの頃の 夢叶う 親子連弾
母 巴 めぐみ
あきないよ 朝からなるまで ユーチューブ
和田小学校六年 佐藤 慧順
それならば 父もなるかな ユーチューバー
父 佐藤 教順
お手本と 言ってた父が スイカ割る
白岩小学校六年 三瓶 希佳
目隠しの 隙間で狙い 胸痛む
父 三瓶 義一
きょうこそは つかまえてやる くるあげは
福島大学附属小学校一年 あべ たくま
信夫山 緑輝く 宝箱
母 安部 美智子

ひざいたむ ばあせん用の つえになる
 福島大学附属小学校 五年 佐藤 真緒
 手をひいた 孫の手今は 我をひく
 祖母 安田 きよ子
 父がいる 我を鼓舞する 試合前
 福島第二中学校 三年 齊藤 裕人
 新天地 二人三脚 追う白球
 父 齊藤 裕
 部屋暑い リビング快適 戻れない
 北信中学校 三年 佐藤 匠
 節電中 みんな集合 会話増す
 母 佐藤 順子
 さびしいよ 帰りが遅い 受験かな
 北信中学校 三年 松井 俊輔
 不器用な エールの言葉で 鼓舞される
 福島成蹊高校 三年 松井 美空
 不思議だね 友との時間は すく過ぎる
 川俣中学校 一年 渡邊 奏翔
 なつかしき 友とがよひし
 兄 渡邊 咲翔
 声援を 受けてしなる 僕の剣
 川俣中学校 一年 今野 翼
 全敗か 見て盗もうか 友の技
 川俣中学校 二年 鈴木 陽仁
 夢に見る 祖父の笑顔 また来てね
 川俣中学校 二年 佐藤 未優
 手を合わせ けむりの行く先 高い空
 母 佐藤 優子
 祖母とみる 同じステージ 変わらない
 川俣中学校 二年 松崎 美希
 コスミンを 孫と踊れる 幸せを
 祖母 松崎 ヒロ子
 ありがとう バドの送迎 三年間
 川俣中学校 三年 蓮沼 さくら
 ほとんどね ナジの履歴は 体育館
 母 蓮沼 瑞枝
 試合後に 母を見つけて 大号泣
 川俣中学校 三年 塚野 侑月
 敗戦後 涙あふれる 中体連
 母 塚野 まゆみ
 父の背を 追いかけて走る 田舎道
 伊達中学校 一年 鈴木 奈桜
 いつまでも 娘との時 続けばと
 父 鈴木 和晃
 この一本 戦友の君に 託すトス
 伊達中学校 一年 鈴木 郁美
 つながれた 期待を背負い うでを振る
 伊達中学校 一年 大竹 蓮愛
 四年ぶり はんそうこ貼り 打つ太鼓
 松陽中学校 一年 青柳 颯太
 ご先祖も 輪になり巡る 盆おどり
 母 青柳 幸子
 外に出る 見守る私 祖父の後
 松陽中学校 一年 佐藤 美優
 いつの間 見守られ側 孫の目に
 祖父 佐藤 保三
 卓球で 全員一勝 絆あり
 月館学園中学校 一年 長澤 利晃
 大会で みんなの努力が 形づく
 月館学園中学校 一年 半澤 元

大だいこ 親子でつなぐ 夏祭り
 月館学園中学校 二年 大河内 要
 父から子へ トントカッカと 口伝する
 母 大河内 美香
 数センチ 魚の大きさ 勝負する
 月館学園中学校 三年 関根 颯星
 釣糸で つながる絆 父と子の
 父 関根 勝富
 遠い地の 祖父母に会える 夏休み
 釧路中学校 一年 緑上 舞香
 この夏は 孫の成長 手で実感
 祖母 中嶋 さた子
 父と釣り 母への土産 シャコ二匹
 県北中学校 一年 佐藤 暖仁
 お土産は 磯の香りと 子の笑顔
 母 佐藤 かおり
 仕事終わり 疲れた母の かたをもむ
 県北中学校 一年 菊地 莉愛
 子の優しさに ほっと一息 明日の糧
 母 菊地 香那
 味がある 祖父の手作り 夏野菜
 岩代中学校 一年 佐藤 和奏
 とうみぎを 一緒に食べる 孫達と
 祖父 日下部 耕蔵
 うちのウメ 昔は誰と 暮らしてた
 大玉中学校 一年 五十嵐 蓮士
 保護犬と 過去より未来 生きて行く
 母 五十嵐 真由子
 「元気でね」 次の夏には また来るよ
 大玉中学校 一年 伊藤 優真
 じいとばあ 孫の背だけに 目を丸め
 父 伊藤 力
 行って来る 竹刀を握り 前を見る
 大玉中学校 一年 佐々木 奏輔
 送り出す 新米剣士 いつまでも
 父 佐々木 寛史
 直送品 鮮度抜群 夏野菜
 大玉中学校 一年 渡邊 佑衣
 探れたてを 孫に届けに 今日も行
 祖父 小西 忍
 新盆に 祖母の夢見る 涙でた
 大玉中学校 一年 河原 くるみ
 天国で 孫の心配 母らしい
 母 河原 愛
 うですもう まだまだ勝てない 父の腕
 大玉中学校 二年 伊藤 道治
 もう近い 息子に負ける その時が
 父 伊藤 英治
 中三に なつても僕は 「パパ」と呼ぶ
 大玉中学校 三年 小沼 駿斗
 反抗期 いつでもOK 準備よし
 父 小沼 健
 夏休み 受験生には 休みなし
 大玉中学校 三年 園分 愛々
 今大事 必死に頑張る 子に夜食
 父 園分 悟
 盆供養 父の背中で 学ぶもの
 本宮第二中学校 一年 野崎 俊里
 お盆の経 息子の声か 生むえがお
 父 野崎 俊弘

憧れの 叔父を目指して 猛稽古
 本宮第二中学校 一年 吉田 友也
 夢を追う 甥を稽古し 背中押す
 指導者 斎藤 健
 父のそば ぎょうざを包む つたない手
 本宮第二中学校 一年 深澤 菜結子
 愛おしく 甥のような ぎょうざ食う
 父 深澤 享仁
 十時半 母の帰りを 待つ自分
 白沢中学校 一年 渡邊 ゆう
 おかえりと 娘の笑顔 疲れ飛び
 母 渡邊 喜代
 夕焼けに 背を向けながら 文字を追う
 白沢中学校 三年 小川 煌斗
 本を持つ 我が子を見つ びわをむく
 母 小川 恵子
 思いのせ 最後の夏に 放つ音
 白沢中学校 三年 吉村 知結美
 今までの 思いをこめて 吹いた夏
 白沢中学校 三年 辻本 詩桜
 盆の入り 遂に超したぞ 祖母の背を
 福島大学附属中学校 二年 杉原 愛来
 迎火で 見上げた空と 孫の顔
 祖母 峠 和枝
 掛け声の バスを屈けた 「あの一瞬」
 福島大学附属中学校 三年 平井 実鈴
 受け取った シュートに繋ぐ そのエール
 福島大学附属中学校 三年 鶏徳 香苗
 おねえちゃん かったの？ ましたの？ どっちなの？
 聴覚支援学校福島校 四年 佐藤 灯
 末っ子と インハイTVに かじりつく
 母 佐藤 明子

家族や友達の思いや願いが
 伝わってきます。
 みんなの作品から人と人との
 あたたかい心のつながりや絆の
 深まりを感じることができたよ！

選考委員の皆様より
 ～感想を伺いました～

プールや海で遊んだ夏休みの思い出などを題材とした明るい作品が多くなってきました。子どもたちがいきいきとしている様子が感じられました。

コロナ禍が明けて、皆で会えるようになってきて、お互いに絆を確かめた作品が多かったです。人と人のふれあいに心があたたかくなりました。

さまざまな体験から、子どもが感じたことを素直に表現されていました。

家でのお手伝いの場面で感じたことなど、ふだんの何気ない生活の中での作品が多く、微笑ましかったです。

中学生の友達とペアになっての応募が多く見られました。部活動のシーンや学校生活での語らいなど友達どうしの心のふれあいがさわやかで大変よかったです。

お父さんお母さんとの関わりや家族どうしの心の交流を感じることができました。